

## 平成22年度第4回医学部医の倫理委員会議事要旨

日時 平成22年7月26日(月) 15時00分～16時00分  
場所 本部棟5階 第一会議室  
出席者 小林委員長、原田委員、竹下委員、塩飽委員、大平委員、中谷委員、堀江委員、清水委員  
欠席者 堀口委員、瀬戸委員、猪原委員

委員以外の出席者 深澤医科医員(内科学第二)、津端医科医員(呼吸器・化学療法内科)、福田准教授(小児科学)、高岡助教(内分泌代謝内科)

- 本委員会は、本学医学部医の倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 平成22年6月28日開催の平成22年度第3回医学部医の倫理委員会の議事要旨を了承した。

議題1. 人間を対象とする医学の研究及び臨床応用申請書の審査について

(1) 課題名: 320列 Area Detector CT による健康成人および食道裂孔ヘルニア患者における食道蠕動運動についての検討

・・・・・・・・・・資料1

小林委員長より、資料1について内科学第二 木下教授から申請があり、予備審査を7月14日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて研究分担者の深澤医科医員から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、申請分類表の研究等の形態を「観察研究」に修正することとし、本件申請について承認した。

(2) 課題名: 高度・中等度催吐性化学療法に伴う遅発性悪心、嘔吐に対するパロノセトロンとグラニセトロンの有効性比較試験～MATを用いた評価および化学伝達物質血中濃度の検討～

・・・・・・・・・・資料2

小林委員長より、資料2について呼吸器・化学療法内科 津端医科医員から申請があり、予備審査を7月14日に実施し予備審査委員会として承認した

ので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の津端医科医員から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、研究協力依頼の説明書中の費用に関することは、別に項目を立てて記載することとし、本件申請について承認した。

(3) 課題名：臍帯血造血幹前駆細胞の増殖と遊走の分子メカニズムに関する研究 . . . . . 資料3

小林委員長より、資料3のとおり小児科学 福田准教授から申請があり、予備審査を7月14日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の福田准教授から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、研究協力依頼の説明書の目的に課題名との関連をわかりやすく説明しておくこととし、本件申請について承認した。

(4) 課題名：生活習慣病と骨折リスクに関する疫学研究 . . . . . 資料4

小林委員長より、資料4のとおり内分泌代謝内科 高岡助教から申請があり、予備審査を7月14日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の高岡助教から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、資料は連結不可能匿名化する旨を明記することとし、本件申請について承認した。

(5) 課題名：20代女性の子宮頸がん検診受診率向上を目的とした継続的性教育プログラムに関する研究 . . . . . 資料5

小林委員長より、資料5のとおり環境予防医学 塩飽教授から申請があり、予備審査を7月14日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の塩飽教授から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、本件申請について承認した。

## 議題 2. 迅速審査の結果について

小林委員長から、7月14日に実施した迅速審査において審議した結果、下記の案件を医の倫理委員会として承認し、全て平成22年7月14日付で承認通知書を発行した旨、報告があった。

### 記

#### ○人間を対象とする医学の研究及び臨床応用

- (1) 申請者：内科学第二 教授 木下 芳一

課題名：錠剤型腸管洗浄剤を用いた簡便式大腸内視鏡前処置法の検討

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

- (2) 申請者：肝臓内科 講師 佐藤 秀一

課題名：肝発癌抑制を目的とした PEG-IFN $\alpha$ 2a 単独療法の有効性・安全性に関する検討

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第3号による

- (3) 申請者：内科学第三 助教 高橋 勉

課題名：外来で Rituximab<sup>®</sup>-CHOP 療法を施行する際、Rituximab を CHOP と同時に投与することが可能であるかを検証する臨床試験

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第3号による

- (4) 申請者：皮膚科学 教授 森田 栄伸

課題名：野生植物由来水溶性抽出物のヒト皮膚に対する安全性の検討

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

- (5) 申請者：皮膚科 助教 澄川 靖之

課題名：皮膚悪性腫瘍における Multidrug Resistant Protein 8 (MRP8) /ATP-Binding cassette, subfamily C, member 11 (ABCC11) 蛋白の発現についての検討

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

- (6) 申請者：輸血部 講師 竹谷 健

課題名：重症低ホスファターゼ症に対する骨髄移植併用同種間葉系幹細胞移植

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

- (7) 申請者：循環器・呼吸器外科学 教授 織田 禎二

課題名：テネインファミリー及び未同定蛋白質の網羅的発現変動解析  
による循環器疾患の病態解明と新規診断・治療法の開発

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

(8) 申請者：泌尿器科学 教授 井川 幹夫

課題名：エラストグラフィ、RVSによる前立腺がん検出能の評価

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第1号による

(9) 申請者：がん放射線治療教育学 教授 内田 伸恵

課題名：子宮頸癌腔内照射における患者満足度の向上ならびに最適な前  
処置のあり方を検討するためのアンケート調査

審査：医学部倫理委員会規則第10条第1項第3号による

次回の医の倫理委員会は、平成22年8月23日（月）15時からとした。